

1889年、ドメーヌとして創業。現在7代目のオーレリアンとその父のティエリーが、エベルネの南西シャヴォ村周辺の11haの自社畑を管理する。父ティエリーの代からビオロジック栽培に取り組み、近年はアルザスの気鋭ジュリアン・メイエなどでも経験を積んだオーレリアンが、その経験を生かしビオダイナミ栽培に転換した。数多いキュヴェの中でも「レ・ヴィーニュ・ドートルフォワ」は1948～60年植樹の木のみ、「レ・ロング・ヴォワ」は1965年と70年植樹の木のみから醸造するなど、古木へのこだわりも並外れたもの。さらなる試みは、古代品種プティ・メリエ、アルパヌヌの他、ピノ・グリ、ピノ・ブランにシャンパーニュの基本3品種を加え醸造する「レ・セット・セパージュ」。栽培が困難でかつ低収量の2つの古代品種の素晴らしさを、情熱と忍耐で見事に表現・開花させたこのキュヴェは、今後のシャンパーニュのさらなる可能性を鮮やかに示唆する偉大な1本とさえ言えるだろう。

2017	4月の霜で大きな被害を受けた。8月に良く雨が降り、収穫期間中まで、暑く湿度の高い天候が、続いた。
2016	春の霜による被害は、大きくはなかった。6月に嵐は来たものの、例年通りの天候で、9月18日に収穫を開始。収穫期間中も良い天気が続いた。
2013	雨は例年より多い
2012	雨は例年同様
2011	雨は例年より少ない
2010	雨は少ないが収穫中に降雨あり

	<b>◎ Brut - Ultradition</b> ブリュット ウルトラディション			備考	ウルトラディションは彼らが所有する複数のテロワールのブレンドで、スタンダードなキュヴェであると同時に、彼らの地域のテロワールを象徴するキュヴェ。いわゆる従来のシャンパーニュの中での【伝統】ではなく、それを大きく新世代が【超えていく】という思いが込められている。
	畑	品種：ピノ・ムニエ主体、シャルドネ、ピノ・ノワール 植樹：1980年代 位置：標高180m 東・北東・西・南向き	醸造		
	<b>◎ Extra Brut - Ultradition</b> エクストラ・ブリュット ウルトラディション			備考	ウルトラディションは彼らが所有する複数のテロワールのブレンドで、スタンダードなキュヴェであると同時に、彼らの地域のテロワールを象徴するキュヴェ。いわゆる従来のシャンパーニュの中での【伝統】ではなく、それを大きく新世代が【超えていく】という思いが込められている。
	畑	品種：ピノ・ムニエ主体、シャルドネ、ピノ・ノワール 植樹：1980年代 位置：標高180m 東・北東・西・南向き	醸造		
	<b>◎ Brut Nature - Blanc de Blancs</b> ブリュット・ナチュラル ブラン・ド・ブラン			備考	最良の区画のシャルドネ（樹齢約35年）によるブラン・ド・ブラン。シャルドネのミネラルとピュアな味わいを特徴とするキュヴェ。
	畑	品種：シャルドネ100% 植樹：1980年代 土壌：粘土石灰質、地中は石灰質	醸造		
	<b>◎ Brut Nature - Nature de Craie - Premier Cru</b> ブリュット・ナチュラル ナチュラル・ド・クレ プルミエ・クリュ			備考	コート・デ・ブランのヴェルチュ（Vertus）とヴォワブルー（Voivreux）に位置する畑のブドウから造られる。
	畑	品種：シャルドネ 植樹：1960年、1965年、1987年 土壌：粘土石灰質	醸造		

	<p align="center"><b>◎Extra Brut - Les Empreintes</b> エクストラ・ブリュット レ・ザンプラント</p>		<p>シャルドネ/ Les Chemins D'Eprenay: 白亜質層上に薄い粘土質の表土。斜面の下部にあり、1957年に植樹。 備考 ピノ・ノワール/ Les Rouges Maisons: 水分が多く肥沃なシレックス混じりの粘土質土壌。丘の中腹に位置し、1983年植樹。</p>
	<p align="center"><b>◎Extra Brut - Blanc de Noirs - Les Longues Voyes Premier Cru</b> エクストラ・ブリュット ブラン・ド・ノワール レ・ロング・ヴォワ・ブルミエ・クリュ</p>		<p>Voyesとはシャンパーニュの古い方言で"みちのり"を意味する。彼らのワイナリー（シャヴォ）からは北に30 kmほど離れたシャムリー村でピオディナミで畑を栽培している、ブドウ栽培者からの買いブドウ。 備考</p>
	<p align="center"><b>◎Extra Brut - Les Vignes d'Autrefois</b> エクストラ・ブリュット レ・ヴィーニュ・ドートルフォワ</p>		<p>石英などの鉱物に富む、彼らの本拠地であるシャヴォ村の周辺の2つの村の畑のブドウを使用。表土が30cmととても薄く、その下には石灰の層が続いている。樹齢も高く、一昔前（Autrefois）の、シャヴォ村のピノ・ムニエを伝えるワイン。味わいの豊かさと繊細さを併せ持つ。 備考</p>
	<p align="center"><b>◎Extra Brut - Blanc de Noirs - Les Rouges maisons</b> エクストラ・ブリュット ブラン・ド・ノワール レ・ルージュ・メゾン</p>		<p>シャヴォ村周辺の畑で、元々はレ・ザンプラントに使用されていたピノ・ノワールを単一区画・単年キュヴェとしてリリース。非常に垂直的なミネラルと果実味が特徴的。 備考</p>
<p>畑</p> <p>品種：ピノ・ノワール、シャルドネ (内1/3はシャルドネ・ミスカテ)</p> <p>植樹：備考欄参照</p> <p>位置：標高180m、東・北向き</p> <p>土壌：備考欄参照</p>	<p>醸造</p>	<p>澱とともに6か月間バリック樽で熟成 この間定期的に春までバトナーージュ マロラクティック醗酵は行なわれない ろ過、清澄はしない</p>	
<p>畑</p> <p>品種：ピノ・ノワール</p> <p>植樹：1965年、1970年</p> <p>土壌：粘土質壤土（地層は石灰を含む）。ライムストーンも見られる。</p>	<p>醸造</p>	<p>バリック内でアルコール発酵 バリックで18か月間シュールリー熟成</p>	
<p>畑</p> <p>品種：ピノ・ムニエ100%</p> <p>植樹：1947~1964年</p> <p>位置：標高180m、300m、北東・東向き</p> <p>土壌：粘土石灰質土壌</p>	<p>醸造</p>	<p>澱とともに7か月間熟成 この間定期的に春までバトナーージュ マロラクティック醗酵は行なわれない</p>	
<p>畑</p> <p>品種：ピノ・ノワール100%</p> <p>植樹：1983年</p> <p>土壌：粘土、シレックス、シストの土壌。石灰質の下層土</p>	<p>醸造</p>	<p>厳選した良く熟したブドウを使用 木樽にてアルコール発酵 マロラクティック醗酵を行う 18か月間瓶内熟成 ドザーージュ2g/L</p>	

	<p align="center"><b>◎ Extra Brut - Les 7 Cépages</b> エクストラ・ブリュット レ・セツト・セパージュ</p>		<p>ラエルトの所有する古い畑に残っていた、現在ではシャンパーニュ地方から姿を消してしまった品種をブレンドし、“250年前に飲まれていたシャンパーニュをもう一度”をコンセプトに造り出されたキュヴェ。ダンタン (d'Antan) と呼ばれる畑に7種類の品種を混植（1列ごとに品種を変えている）している。醸造面でも個性的で、リザーヴワインにはソレラシステムを採用しており、40%の比率でブレンドして、味わいに深みを与えている。瓶内熟成36か月間、デゴルジュマン後も1年間と、十分に酸素を知り、多くの熟成中の変化を経験しているので抜栓後からも安定していると言えるだろう。</p>
	<p align="center"><b>◎ Extra Brut - Blanc de Blancs - Les Grandes Crayères</b> エクストラ・ブリュット ブラン・ド・ブラン レ・グランド・クレイエール</p>		<p>Epernayの南丘陵のシャルドネを使用。柔らかな土壌とカンパニア期(白亜質の終盤)の石灰質という特異な地質。2014年にシャルドネの単一キュベをつくることを決めた。</p>
	<p align="center"><b>◎ Extra Brut - Petit Meslier</b> エクストラ・ブリュット プティ・メリエ</p>		<p>プティ・メリエは、現代の多くの品種の親であるグエ・ブランとサヴァニヤンの交配品種で、酸が非常に高く、シャンパーニュ地方でも補助品種として極一部栽培されてきた。ラエルトはセレクション・マサルにより1ha植樹。複数VTのアサンブラージュで、リザーヴワインは40%。</p>
	<p align="center"><b>◎ Extra Brut - Rosé de Meunier</b> エクストラ・ブリュット ロゼ・ド・ムニエ</p>		<p>アサンブラージュは、30%がマセラシオン、10%が赤ワイン、60%が白ワイン（このうち40%がバリックで保存(熟成)したリザーヴワイン）で3つの醸造の違いが複雑味を与える。また土中に含まれるシレックスが時折スモーキーなニュアンスを与える。</p>
	<p align="center"><b>◎ Extra Brut - Rose de Saignée Les Beaudiers</b> エクストラ・ブリュット ロゼ・ド・セニエ レ・ボディエ</p>		<p>シャヴォの丘の中腹に位置する古くから大切にしている区画で、通称les beaudiers。通気性と収量抑制のため剪定が短い。石灰岩の上に、シレックスや小石が混ざった、層の薄い粘土とシルトの土壌。下層土は白亜質。</p>